



## 2019年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年7月27日

上場会社名 株式会社ハマキョウレックス

上場取引所 東

コード番号 9037 URL <http://www.hamakyorex.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大須賀 秀徳

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長兼内部統制室長 (氏名) 山田 力也

TEL 053-444-0054

四半期報告書提出予定日 2018年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第1四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	26,866	7.7	2,313	11.6	2,440	10.6	1,449	11.5
2018年3月期第1四半期	24,948	1.1	2,073	5.0	2,205	6.3	1,299	9.6

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 1,713百万円 (12.2%) 2018年3月期第1四半期 1,526百万円 (17.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	76.26	
2018年3月期第1四半期	68.38	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第1四半期	113,484	59,825	46.4
2018年3月期	112,520	58,641	45.9

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 52,697百万円 2018年3月期 51,642百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		22.50		22.50	45.00
2019年3月期					
2019年3月期(予想)		26.00		26.00	52.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	108,000	4.4	9,600	6.3	10,000	5.1	6,000	7.6	315.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期1Q	19,012,000 株	2018年3月期	19,012,000 株
期末自己株式数	2019年3月期1Q	6,617 株	2018年3月期	6,514 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期1Q	19,005,424 株	2018年3月期1Q	19,005,610 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	4
第1四半期連結累計期間 .....	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	5
(継続企業の前提に関する注記) .....	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	5
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	5
(会計方針の変更) .....	5
(追加情報) .....	5
(セグメント情報等) .....	6
(重要な後発事象) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策により一部企業において収益・雇用環境の改善を背景に緩やかな回復基調が続いているものの、米国の通商政策への懸念や地政学的リスクの高まり等の影響により依然として先行きの不透明な状況にあります。

当業界におきましても、原油価格の高騰や人手不足等、経営環境は引続き厳しい状況が続いております。

こうした中、当企業グループの当第1四半期連結累計期間は、営業収益268億66百万円(前年同期比7.7%増)、営業利益23億13百万円(同11.6%増)、経常利益24億40百万円(同10.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益14億49百万円(同11.5%増)となりました。

各セグメント別の営業状況は、次のとおりであります。

## (物流センター事業)

当第1四半期連結累計期間の営業収益は、135億72百万円(前年同期比8.8%増)、営業利益は、15億64百万円(同11.7%増)となりました。

増収増益の主な要因につきましては、物流センター運営の充実と前連結会計年度までに受託したセンターが順次業績に寄与したことによるものであります。

新規受託の概況につきましては、4社の物流を受託しております。

稼働状況につきましては、4社のうち3社稼働しております。残りの1社につきましては、2018年9月以降の稼働を目指し準備を進めてまいります。

物流センターの総数は、103センターとなりました。

引続き日々収支、全員参加、コミュニケーションを徹底して行い、収支改善に向け取り組んでまいります。

## (貨物自動車運送事業)

当第1四半期連結累計期間の営業収益は、132億93百万円(前年同期比6.5%増)、営業利益7億47百万円(同11.3%増)となりました。

営業収益につきましては、前年同期比8億14百万円増加いたしました。増収の主な要因は、前連結会計年度より実施いたしました運賃値上交渉による増加と、同業他社との共同輸送による取引の増加等によるものであります。

営業利益につきましては、燃料単価上昇による燃料費増加の影響はあったものの、運賃値上等による営業収益の増加により、前年同期比76百万円増加いたしました。

今後につきましては、運賃値上交渉と同業他社との取引拡大を引続き実施してまいります。また、グループ会社間のシナジー強化を図り、更なる業務の効率化を進めてまいります。

## (2) 財政状態に関する説明

## (当第1四半期の状況)

当企業グループの当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比9億64百万円増加し、1,134億84百万円となりました。これは主に、現金及び預金等の増加により流動資産が15億65百万円増加し、減価償却が進み有形固定資産が5億77百万円減少したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末比2億19百万円減少し、536億58百万円となりました。これは主に、新規センター稼働のための物流機器購入による増加と未払法人税等の減少により流動負債が2億81百万円増加したものの、借入金の返済等により固定負債が5億円減少したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末比11億84百万円増加し、598億25百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益14億49百万円の計上と剰余金の配当による減少4億27百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の45.9%から46.4%へと増加しております。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期の連結業績予想といたしましては、2018年5月9日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

なお、軽油単価につきましては、最近の情勢をもとに計算しております。なお、軽油単価の変動による影響につきましては、1リットル当たりの単価1円の変動により、年間35百万円となります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,530	10,808
受取手形及び売掛金	14,362	14,310
商品	16	15
貯蔵品	93	96
その他	1,029	1,367
貸倒引当金	△44	△44
流動資産合計	24,988	26,553
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	29,829	29,384
土地	40,530	40,530
その他(純額)	10,433	10,300
有形固定資産合計	80,793	80,215
無形固定資産	2,150	2,173
投資その他の資産	4,587	4,540
固定資産合計	87,531	86,930
資産合計	112,520	113,484
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,777	6,519
短期借入金	17,294	17,360
未払法人税等	1,922	923
賞与引当金	880	1,021
役員賞与引当金	34	12
厚生年金基金解散損失引当金	2	2
その他	7,290	8,642
流動負債合計	34,201	34,482
固定負債		
長期借入金	6,792	6,458
退職給付に係る負債	5,815	5,833
厚生年金基金解散損失引当金	39	38
その他	7,029	6,845
固定負債合計	19,676	19,176
負債合計	53,878	53,658
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,547	6,547
資本剰余金	6,466	6,466
利益剰余金	38,562	39,584
自己株式	△9	△10
株主資本合計	51,566	52,587
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	325	346
退職給付に係る調整累計額	△250	△235
その他の包括利益累計額合計	75	110
非支配株主持分	6,999	7,128
純資産合計	58,641	59,825
負債純資産合計	112,520	113,484

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
営業収益	24,948	26,866
営業原価	22,243	23,888
営業総利益	2,705	2,977
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	0	△0
役員報酬	145	157
給料及び手当	121	138
賞与引当金繰入額	29	26
役員賞与引当金繰入額	9	6
退職給付費用	5	6
その他	319	329
販売費及び一般管理費合計	631	663
営業利益	2,073	2,313
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	21	30
助成金収入	4	0
売電収入	126	121
雑収入	109	101
営業外収益合計	262	254
営業外費用		
支払利息	50	42
売電原価	64	61
雑損失	14	23
営業外費用合計	129	127
経常利益	2,205	2,440
特別損失		
物流センター移転閉鎖損失	24	-
特別損失合計	24	-
税金等調整前四半期純利益	2,181	2,440
法人税、住民税及び事業税	825	881
法人税等調整額	△124	△111
法人税等合計	700	770
四半期純利益	1,480	1,669
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,299	1,449
非支配株主に帰属する四半期純利益	180	220
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	30	24
退職給付に係る調整額	15	18
その他の包括利益合計	45	43
四半期包括利益	1,526	1,713
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,340	1,483
非支配株主に係る四半期包括利益	186	229

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 及び包括利益計 算書計上額 (注)2
	物流センター事 業	貨物自動車運送 事業	計		
営業収益					
外部顧客への営業収益	12,470	12,478	24,948	-	24,948
セグメント間の内部売上高 又は振替高	31	488	520	△520	-
計	12,501	12,967	25,469	△520	24,948
セグメント利益	1,400	671	2,071	1	2,073

(注)1. 調整額は、全てセグメント間取引消去によるものであります。

(注)2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 及び包括利益計 算書計上額 (注)2
	物流センター事 業	貨物自動車運送 事業	計		
営業収益					
外部顧客への営業収益	13,572	13,293	26,866	-	26,866
セグメント間の内部売上高 又は振替高	48	488	537	△537	-
計	13,620	13,782	27,403	△537	26,866
セグメント利益	1,564	747	2,311	2	2,313

(注)1. 調整額は、全てセグメント間取引消去によるものであります。

(注)2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。